



どこでも市長室

市が4月から実施している「どこでも市長室（移動市長室）」これまで7地区で開催し、農林業団体、ボランティア団体などの市民から、地元産業の振興や合併後の市政などに関する意見・要望が寄せられました。

6月号でお伝えした1回目に続き、「どこでも市長室（移動市長室）」に参加した市民皆さんと市長の意見交換の内容を紹介します。

第4回移動市長室

■とき 5月24日（水）
■ところ 米山総合支所
■参加者

- ①ふるさとセンターY・Y 指定管理者「米山町農業生産組織連絡協議会」3人
 - ②米山4地区コミュニティ連絡会 6人
 - ③市食生活改善推進員協議会米山分会 4人
- Q（市民）** 公民館の指定管理者制度はいつから考えているのか。その際は、どのような人が管理をするのか。

A（市長） 公民館を含めた公共施設の指定管理者は、金額の多寡だけではなく、提案いただいた運営方法が選定基準となります。その施設に見合った管理運営をしてもらうのが指定管理者となるので、誰でも可能性はあります。これまで公共施設などは、定まった利用しかできなく、融通が利かないという意見がありました。指定管理者制度を導入することで、地域に合った利用形態が実現するとともに、経費の節減も考えられます。市では今年度中に、指定管理者制度への移行のための年次計画を立てる予定です。

第5回移動市長室

■とき 7月12日（水）
■ところ 豊里総合支所
■参加者

- ①とよさとマイ・タウン・クラブ 5人
 - ②豊里町ボランティア友の会 3人
 - ③豊里町ゲートボール協会
- Q（市民）** 毎日子どもたちの悲しい事件事故が報道され、市として子どもの安全を守るため、集団下校などに取り組んでもらいたい。また、佐沼病院の産婦人科、小児科が縮小されて不安です。

を進めていきます。病院の問題は、市が医師の人数を減らしたわけではなく、派遣してもらっていた大学側の事情によるものです。市では、昨年から市内の医療体制をどのように進めていくかなどを、各種委員会などで検討しています。また、医師の勤務環境も問題となっています。佐沼病院へ時間外診療に来る人は、年間1万人を超え、1日当たりになると30人以上になります。大体の方が緊急性のある病状ではありませんが、仕事帰りなどの時間外に薬をもらいにくる人がいるなど、医療を受ける側の意識も変えるようにしていかないと、医師の確保は難しくなります。

第6回移動市長室

■とき 7月26日（水）
■ところ 中田総合支所
■参加者

- ①迫たばこ販売協同組合中田女性部 4人
 - ②中田町農産加工クラブ連絡協議会 4人
 - ③なかた農産物直売所管理運営組合 4人
- Q（市長）** 喫煙者が悪者扱いされるということは、吸う人のマナーの問題もあると思います。周りの人に気を遣った吸い方やポイ捨てをしないなど、エチケットを守ってもらいたい。マナーアップの活動が本当に喫煙者に届いているかという点、残念ですがそことは言えない現状です。たばこ税は市の大切な財源ですので、健康に留意しながら、正しいルールで吸っていただきたい。



第7回移動市長室

■とき 8月9日（水）
■ところ 東和総合支所
■参加者

- ①若草山みどりの会 5人
 - ②東和中学校PTA 2人
 - ③東和道の駅農林産物出荷組合 6人
- Q（市民）** みどりの会の活動は、高齢者や女性も含め、地域の人たちの協力で若草山公園の整備を行っています。ボランティアでできることはやっていきたいと思いますが、市の援助もお願いしたい。

とが要因と考えている。
A（市長） 現状の値段は消費者にとってはいいことだと思えます。さらに販売額を増やすためには、ほかの直売所にはない品揃えをしたり、品質についてのPRをしたりするなど、工夫が必要ではないでしょうか。また、買いに来たに当たって、積極的に話しかけることもとてもいいことだと思います。商品の話や調理の仕方などを教えることも、再び消費者が買い求めに来ることもあるようです。

Q（市長） 現在市では、メールで不審者情報を提供し、情報の共有体制を強化しています。今後もより多くの方に登録してもらおう方や、安全対策などを教育委員会と連携し

や山野草が豊富にある場所の整備活動を苦勞して行っているかと思っています。意義のある活動については、しっかりと援助をしていきたいと思っています。

Q（市民） 東和中生徒のほとんどが自転車通学です。米谷工高から米川方面には歩道がなく、冬は雪のため事故が多く大変危険です。横断歩道の整備と冬期間の早めの除雪をお願いしたい。また、嵯峨立などの遠距離通学者のために、歩道と横断歩道の設置もお願いしたい。

A（市長） 米谷・根廻地区の道路整備については議会で何度も取り上げられており、県懸案事項となっています。県

6人
④豊里町手をつなぐ育成会 3人

Q（市民） 総合型地域スポーツクラブは、市内全域に設置するの。設置する場合は、1団体当たりの補助金はいくらになるか。

A（市長） 総合型地域スポーツクラブの運営費補助は、サッカーくじが財源の一部となっています。従って、サッカーくじの今後を見ながらとなりますが、健康づくりの観点から重要な事業と位置付けています。補助金については、市全体の予算が縮小している中、増額は難しい状況です。

Q（市民） 豊里小中一貫教育が始まったが、新校舎が完成した後の豊里小学校施設はどうなるのか。

A（市長） まだまだ立派な建物ですが、再利用する場合は施設改修が必要になります。今後新しい事業をする際、新たな施設を建設すると膨大な経費が掛かるので、現在ある施設を有効に活用する形で考えています。利用計画については、現在検討中です。

■ところ 中田総合支所
■参加者

①迫たばこ販売協同組合中田女性部 4人

②中田町農産加工クラブ連絡協議会 4人

③なかた農産物直売所管理運営組合 4人

Q（市長） 最近、たばこを吸う人が悪者扱いを受けているように思う。おかしいのではないか。

A（市長） 喫煙者が悪者扱いされるということは、吸う人のマナーの問題もあると思います。周りの人に気を遣った吸い方やポイ捨てをしないなど、エチケットを守ってもらいたい。マナーアップの活動が本当に喫煙者に届いているかという点、残念ですがそことは言えない現状です。たばこ税は市の大切な財源ですので、健康に留意しながら、正しいルールで吸っていただきたい。

Q（市民） 中田町に農産物直売所ができて、今まで仙台や気仙沼市場へ出荷していた野菜が直接販売できるようになった。当初の計画では1日20万円の販売額だったが、現在は平均40万円程度の売り上げがある。品揃えが豊富なこと、価格が市価より安いこと

10月の参加団体を募集します

10月に開催する「どこでも市長室（移動市長室）」の参加団体を募集します。

【日程・場所】
□10月10日（火）迫総合支所
□10月25日（水）津山総合支所
※詳しい時間、場所は申し込みの際に確認してください。

【募集対象】 迫・津山地区で活動する団体またはサークル（先着順3～4団体）

【申込方法】 次の事項を明記し、総務部総務課広報係へ直接または郵便、電子メールのいずれかで申し込みください。

①団体（サークル）名	②代表者氏名
③住所	④電話番号
⑤活動内容	⑥テーマ

【申し込み・問い合わせ】
〒987-0511
登米市迫町佐沼字中江二丁目6番地1
総務部総務課広報係
☎0220(22)2090 FAX0220(22)9164
E-mail koho@city.tome.miyagi.jp